


島唄保存・伝承活動等取組事例

| 市 町 村 名 | 与論町 | |
|-----------|--|--|
| | 【事 例 1】 | 【事 例 2】 |
| 分類(該当に○) | 1 保存・伝承活動 | 3 地域振興 |
| 実施団体の概要 | <p>【名 称】NPO法人ヨロンSC 【代 表 者】理事長 高井克彦 【所 在 地】与論町茶花1013 【メンバー】町民77名</p> | <p>【名 称】NPO法人ヨロン島・尊々我無 【代 表 者】原 栄徳 【所 在 地】与論町立長 【メンバー】15名</p> |
| 取組の背景 | <ul style="list-style-type: none"> 唄者と言われている人たちが、高齢になり伝承活動ができなくなっていることから、公民館活動として開設。 | <ul style="list-style-type: none"> 「十九の春」の元唄と言われているヨロン小唄の時代背景を知ること、改めて島の歴史を再認識してもらい、与論を好きになってもらう。 |
| 取組の概要 | <ul style="list-style-type: none"> 島唄に興味がある、町民を対象に公民館講座として開講。 初級A, 初級B, 中級の教室を週1回開催。 | <ul style="list-style-type: none"> 毎年10月19日に「十九の春」世界大会と称したイベントを行い、地域振興に貢献している。  |
| 成 果 | <ul style="list-style-type: none"> 初級から中級への進級者が毎年10名程度あり、確実に島唄が伝承されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 大会もで5回を数え、島外からの参加者も増えつつある。 |
| 課 題 | <ul style="list-style-type: none"> 島口が話せないため、意味が分からないまま唄っている。 受講生の中には転勤族もあり、本当の意味での島唄伝承になっているか課題である。 | <ul style="list-style-type: none"> NPOの会員だけではスタッフ不足であり、仲間をどう増やしていくかが課題。 |
| 今 後 の 取 組 | <ul style="list-style-type: none"> 色々なイベントに出演してもらうことによってレベルアップを図っていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 大会のことをもっと知ってもらい、多くの参加者に来てもらえるよう中身の充実に努めたい。 |